



認知症サポーター養成講座が、9月2日、知名町商工会館で開催され、29名の方が認知症について学び理解を深めました。認知症サポーターは、認知症の方やその家族をあたたかく見守り応援する人で、安心して暮らせる町づくりのため、今後の活躍が期待されます。

広がる認知症サポーターの輪



幼年消防クラブへの鼓笛隊セット贈呈式が、9月9日、知名幼稚園内でありました。この鼓笛隊セットは、宝くじ助成事業（防災）を活用し、太鼓やタンバリン、けん盤ハーモニカ、木琴などを整備したもので、今後消防出初式などで使用される予定です。

消防クラブ鼓笛隊への贈り物



下平川小5年の児童と字老人クラブのメンバーが、9月16日、余多ふれあい公園で稲刈りを行いました。この稲は5月に植えられたもので、大きく実った稲を参加者は手際良く刈り取っていました。12月には、今回収穫した餅米を使って、字で餅つき大会が行われるそうです。

自然の恵みに感謝して



新90歳・100歳と100歳以上になられた方への表敬訪問が、9月17日にあり、平安正盛町長とJAあまみ知名事業本部島元嗣統括理事が、対象者に祝状と名入り湯のみなどを贈呈しました。今年の対象者は、新90歳29名、新100歳4名、100歳以上3名の計36名でした。

「ご長寿をお祝い申し上げます」



交通安全意識の高揚を図ることを目的とした秋の全国交通安全運動パレード及び街頭キャンペーンが、9月21日にありました。沖永良部警察署や各団体から約80名が参加し、役場前からのパレードのあと、交差点でチラシ配布などのキャンペーン活動を行い、ドライバーへ交通安全の協力を呼びかけました。

交通事故「0」を目指して



神戸市在住の書家、本田玉蘭（純子）さんによる「書道を楽しむ会」が、9月24日、中央公民館で開催され、町内の小学生32名が参加しました。子どもたちは、うちわや貝殻、色紙、和紙などに文字を書き作品に仕上げました。子どもたちは楽しみながらたくさんの文字を書いていました。

書道を楽しむ会